

NEWS

加西市能・狂言プロジェクト
『希望と祈りを込めて ～加西から世界へ～』

問合せ先 文化・観光・スポーツ課 ☎④ 8756

加西市能・狂言プロジェクト「希望と祈りを込めて～加西から世界へ～」が市役所正面玄関前特設会場にて7月19日開催されました。新型コロナウイルス感染拡大により5月4日開催予定であった「第5回加西能」が延期となり、加西市子ども狂言塾が1年間お稽古に励んできた成果を披露する場を設けるため、特別顧問であられる観世鍊之丞さん、野村萬齋さんにご協力いただき開催することができました。

この日は、観世鍊之丞さんらが神歌「翁」を披露し、続いて、野村萬齋さんらが狂言「柿山伏（かきやまぶし）」、子ども狂言塾生28名が新作狂言「根日女」を演じ、募集のあった限定100名の市民と、関係者らが拍手を送りました。

当日の様子は、YouTube「加西公式チャンネル」にてライブ配信を行い、世界中の人たちへ希望と祈りを届けました。



●神歌「翁」

「翁」は、天下泰平、国土安穩、そして、新型コロナウイルス感染症の収束を願う疫病退散の祈りを、謡によって表現する儀式です。加西市から世界へ、鎮魂の祈りを届けました。

の精神があり、生きている限り人間ってそういうもの、という生への賛歌がある」と語られました。

●狂言「柿山伏」

狂言「柿山伏」は、野村萬齋さん演じる山伏が故郷に帰る途中でのどの渇きを覚え柿を取って食べ始めます。そこへ、畑主がやってきて木陰に隠れた山伏を見つけ、腹を立てながらも、山伏をからかうために犬や猿など次々に鳴きまねをさせるお話です。萬齋さん演じる山伏が全身を使い鳴きまねをする姿に客席から大きな笑いが起きました。

●新作狂言「根日女」

加西市が「播磨国風土記」編集1300年を記念し、「根日女」伝説を題材にした狂言の制作協力を野村萬齋さんに依頼して誕生しました。加西市にとって大切な「ふるさと」の狂言です。この日は、悲恋を基にした物語の独特の動きやセリフを堂々と演じました。

萬齋さんは、「狂言は、人間そのものが持っている滑稽さを描き、どんなことも笑いに転じるところに、人間肯定

加西公式チャンネルはこちら



▲神歌「翁」を披露する観世鍊之丞さんら



▲狂言「柿山伏」を演じる野村萬齋さんら



▲新作狂言「根日女」を演じる塾生たち

KASAI データバンク

R2.6.30 現在 (前月比)

人口 /43,735 (-56) 男 /21,469 (-19) 女 /22,266 (-37)

世帯数 /18,310 (+2) 6月の出生数 /25人 死亡数 /37人

● 8/12、26 は市民課・国保医療課窓口を延長 (17:15 ~ 19:00)

● 加西市の市外局番は0790です。誌面では省略しています。

● 加西市 HP <http://www.city.kasai.hyogo.jp>

発行 / 加西市
〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 ☎0790④1110 (代)

編集 / ふるさと創造部秘書課 ☎0790④8701 fax0790④0291

パンチ穴を開けられる場合はこちらを中心に合わせてください

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。